

感染防止策チェックリスト（主催者向け）

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をチェックリスト化し掲示する
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮する
- 感染が発生した場合に備え、参加当日に提出を求めた書面は保存期間（1ヵ月以上）を定めて保存する
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症発症の報告があったり、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告されたりした場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局と事前に検討しておく

大会等の参加募集時の対応

主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める（大会当日に書面で確認を行う）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に入国制限／観察期間が必要な国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクの持参を求める（参加受付時や着替え時等の競技をしていない際や会話時にはマスクを着用する）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する
- 他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保する（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 大会開催中は大きな声で会話、応援等をしない
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ速やかに報告する

当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置する
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかける（発熱者の入場制限等）
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する

- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行う
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させる
- インターネット等を活用した受付の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにする
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める
 - 氏名、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに十分注意する
 - 大会当日の体温
 大会前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に入国制限／入国後の観察期間が必要な国、地域等への渡航や当該在住者との濃厚接触有無

大会参加者への対応

- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認する
 - 参加の受付、着替え、表彰式等の競技を行っていない間には、マスクの着用を求める
- 大会参加前後の留意事項
 - 大会前後のミーティングや等においても、3つの密を避ける
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する

大会主催者が準備すべき事項の対応

- 大会会場
 - 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う
 - 換気設備を適切に運転すること
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- 運営スタッフの体調管理
 - 大会当日の体温
 大会前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等

- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に入国制限／入国後の観察期間が必要な国、地域等への渡航や当該在住者との濃厚接触有無

トイレ・手洗い場所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）は、こまめに消毒する
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する
- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する（手指を乾燥させる設備については使用しない）
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する

更衣室、喫煙所、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる
- 複数の参加者が触れる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）は、こまめに消毒する
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する

観客への対応

- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める
 - 氏名、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに十分注意する
 - 大会当日の体温
 大会前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に入国制限／入国後の観察期間が必要な国、地域等への渡航や当該在住者との濃厚接触有無
- 観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席数を減らすなどの対応をとる
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する
- 入口に、手指消毒剤を設置し、入場前に必ず手指の消毒をする
- マスク着用のない方の入場は断る
- スタッフによるチケットもぎりは簡略化し、プログラム等も手渡しせず会場内に置く
- スタッフには、マスクを着用させる

ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用する
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する

参加者が競技を行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 他の出場者、主催者、観戦者との距離を確保する
 - 出場時以外の入場口付近での滞在の禁止
- 競技会中に大きな声での会話、他の選手への応援をしない
- 握手、ハイタッチ、タオルの共用等の禁止
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと